

◎円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文

(略称) 中国との円借款取極

平成 十九年十二月 一日 北京で
平成 十九年十二月 一日 効力発生
平成 十九年十二月 十四日 告示

(外務省告示第六八一号)

目 次

ページ

| | |
|---|-----|
| 日本側書簡 | 八〇五 |
| 1 円借款の供与 | 八〇五 |
| 2 借款契約の締結及び借款の条件 | 八〇五 |
| 3 借款の対象 | 八〇五 |
| 4 生産物又は役務の調達 | 八〇五 |
| 5 生産物の海上輸送及び海上保険 | 八〇六 |
| 6 日本国民の入国及び滞在に対する便宜供与 | 八〇六 |
| 7 借款、利子等の免税 | 八〇六 |
| 8 借款の適正使用等 | 八〇六 |
| 9 事業計画の進捗状況 ^{ちよく} についての情報及び資料の提供 | 八〇六 |
| 10 協議 | 八〇六 |
| 11 書簡と付表との関係 | 八〇六 |

| | |
|-------------|-----|
| 付表 | 八〇八 |
| 中国側書簡 | 八〇九 |
| ○解釈正文に関する書簡 | 八一四 |
| 日本側書簡 | 八一四 |
| 中国側書簡 | 八一五 |

日本側書簡

円借款の供与

借款契約の締結及び借款の条件

借款の対象

生産物又は役務の調達

(円借款の供与に関する日本国政府と中華人民共和国政府との間の交換公文)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本大臣は、中華人民共和国政府に供与される日本国の借款に関して日本国政府の代表者と中華人民共和国政府の代表者との間で最近到達した次の了解を確認する光栄を有します。

1 四百六十三億二百万円(四六、三〇二、〇〇〇、〇〇〇円)の額までの円貨による借款(以下「借款」という。)が、この書簡の付表(以下「付表」という。)1欄に掲げる事業計画を実施することを目的として、各事業計画につき付表2欄に定める配分に応じ、国際協力銀行(以下「銀行」という。)により、日本国の関係法令に従って、中華人民共和国政府に供与されることになる。中華人民共和国財政部(以下「財政部」という。)は、中華人民共和国政府により、中華人民共和国政府に代わって、借款を受け入れ及び銀行との間で借款契約に署名する権限を与えられる。

2 (1) 借款は、財政部と銀行との間で締結される借款契約に基づいて使用に供される。借款の条件及び使用に関する手続は、なканずく付表3欄、付表4欄及び付表5欄にそれぞれ掲げる利子率、償還期間及び支出期間を含むことになる前記の借款契約によって規律される。

(2) (1)に規定する借款契約の各々は、銀行が当該借款契約に係る付表1欄に掲げる事業計画の実行可能性(環境に対する配慮を含む。)を確認した後締結される。

(3) 付表5欄に掲げるそれぞれの支出期間は、両政府の関係当局の同意を得て延長することができる。

3 (1) 借款は、中国の実施機関が調達適格国の供給者又は請負業者に対して行う支払で、付表1欄に掲げる事業計画の実施に必要な生産物又は役務の購入のために両者の間で締結されることのある契約に基づいて行われるものを対象として使用に供される。ただし、当該購入は、調達適格国において、それらの国で生産される生産物又はそれらの国から供給される役務について行われる。

(2) (1)に規定する調達適格国の範囲は、両政府の関係当局間で合意される。

(3) 借款の一部は、青海省生態環境整備計画の実施のための適格な現地通貨の需要に充てるために使用することができる。

4 中華人民共和国政府は、3(1)に規定する生産物又は役務が銀行の調達のためのガイドライン(国際競争入札の手続が適用できないか又は適当でない場合を除くほか従うべき国際競争入札の手続をなканずく定める。)に従って調達されることを確保する。

中国との円借款取極

生産物の海上輸送及び海上保険
日本の入国及び滞在の便宜供与
借款、利子等の免税
借款の適正使用等
事業計画の進捗状況についての情報及び資料の提供
協議
書簡と付表との関係

- 5 中華人民共和国政府は、借款に基づいて購入される生産物の海上輸送及び海上保険に関し、海運会社及び海上保険会社の間の公正かつ自由な競争を妨げるものがあるいかなる制限を課することも差し控える。
 - 6 3 (1)に規定する生産物又は役務の供給に関連して中華人民共和国においてその役務が必要とされる日本国民は、作業の遂行のため中華人民共和国への入国及び同国における滞在に必要な便宜を与えられる。
 - 7 中華人民共和国政府は、次のものを免除する。
 - (a) 銀行について、借款及びそれから生ずる利子に対して又はそれらに関連して中華人民共和国において課されるすべての財政課徴金及び租税
 - (b) 供給者又は請負業者として活動する日本国の会社について、付表1欄に掲げる事業計画の実施に必要な自己の建設機材の搬入及び搬出に関して中華人民共和国において課されるすべての関税及び関連の財政課徴金
 - 8 中華人民共和国政府は、次のことを確保するために必要な措置をとる。
 - (a) 借款が適正にかつ専ら付表1欄に掲げる事業計画のために使用されること。
 - (b) 借款に基づいて建設される施設がこの了解に定める目的のために適正にかつ効果的に維持され及び使用されること。
 - 9 中華人民共和国政府は、要請に応じ、日本国政府及び銀行に対し、付表1欄に掲げる事業計画の進捗状況についての情報及び資料を提供する。
 - 10 両政府は、共同して借款の実施の進捗状況を随時検討し、借款の円滑かつ効果的な使用を確保するために必要な措置をとり、また、この了解から又はそれに関連して生ずることのあるいかなる事項についても相互に協議する。
 - 11 付表は、この書簡の不可分の一部を成す。
- 本大臣は、更に、この書簡及び前記の了解を中華人民共和国政府に代わって確認される閣下の返簡が両政府間の合意を構成し、その合意が閣下の返簡の日付の日に効力を生ずるものとすることを提案する光栄を有します。
- 本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。
- 二千七年十二月一日に北京で

日本国外務大臣 高村正彦

中華人民共和国

外交部長 楊潔篪閣下

中国との円借款取極

付
表

中国との円借款取極

付表

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|----------|---------------|------------------|-------------------------------|
| 事業計画名 | 供与限度額 | 利率 (パーセント) | 償還期間 | 支出期間 (借款契約の 発効の日 以後) |
| 1 甘肅省蘭州市大 気環境改善計画 | 七十四億円 | 〇・六五 | 十年の据置期間 の後三十年 | 八年 |
| 2 青海省生態環境 整備計画 | 六十三億円 | 〇・六五 | 十年の据置期間 の後三十年 | 九年 |
| 3 新疆ウイグル自 治区地方都市環境 整備計画(第一期) | 三十八億二百万円 | 〇・六五 | 十年の据置期間 の後三十年 | 八年 |
| 4 河南省南陽市環 境整備計画 | 百十五億円 | 〇・六五 | 十年の据置期間 の後三十年 | 七年 |
| 5 湖南省都市廃棄 物処理計画 | 百五億円 | 〇・六五 | 十年の据置期間 の後三十年 | 七年 |
| 6 安徽省都市廃棄 物処理計画 | 六十八億円 | 〇・六五 | 十年の据置期間 の後三十年 | 七年 |
| 総 額 四百六十三億二百万円 | | | | |
| 優先条件適用部分 (地球環境・公害対 策関連部分及び人材 育成関連部分) | | 一・四 | 七年の据置期間 の後十八年 | |

(中国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本部長は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する米米を有し奉ず。

(日本側書簡)

(中方照会)

日本国外務大臣高村正彦閣下

閣下：

我謹收到閣下今日の照会、内容如下：

“我谨确认，日本国政府代表和中华人民共和国政府代表，最近就日方拟向中华人民共和国政府提供日元贷款，达成如下谅解：

一、根据日本国的有关法律和规章，日本国际协力银行(以下简称“银行”)，将向中华人民共和国政府提供不超过四百六十三亿二百万日元(¥46,302,000,000)数额的日元贷款(以下简称“贷款”)，以便按照所附项目表(以下简称“项目表”)第二栏中规定的每个项目的金额实施项目表第一栏中开列的各个项目，中华人民共和国政府授权中华人民共和国财政部(以下简称“财政部”)代表中华人民共和国政府接受贷款，并与银行签订贷款协议。

二、(一)贷款将根据财政部和银行所签订的贷款协议予以提供。贷款的条件及其使用程序将受上述贷款协议的制约。这些协议将特别包括项目表第三栏、四栏和五栏中分别开列的年利率、偿还期和支付期。

(二)上述第(一)项中提到的各项贷款协议，将在银行

对同贷款协议有关的项目认为实际可行（包括对环境的考虑）后，予以缔结。

（三）项目表第五栏中规定的支付期，经两国政府有关当局同意可予延长。

三、（一）贷款将为中华人民共和国的执行机构根据他们同有资格来源国的供应厂商和（或）承包商为了实施项目表第一栏中提到的项目所需要购买产品和（或）服务而可能签订的合同，向这些厂商、承包商和（或）顾问已经支付或将支付而提供，但此项购买是以在有资格来源国里为采购该国生产的产品，和（或）从这些国家提供服务者为限。

（二）上述第（一）项提到的有资格来源国的范围将由两国政府的有关当局达成协议。

（三）部分贷款可用来解决实施青海省草地生态建设项目的符合条件的内币需求。

四、中华人民共和国政府将确保，按照银行关于采购的指导原则购得上述第三款第（一）项提到的产品和（或）服务。这些原则特别规定了应予遵循的国际投标手续，但不能适用或不适合者除外。

五、关于根据贷款购买的产品的海上运输以及海上保险问题，中华人民共和国政府对海上运输公司以及海上保险公司之间的公

平自由的竞争不设任何限制。

六、根据上述第三款第（一）项提到的有关供应产品和（或）提供服务而需在中华人民共和国工作的日本国民，为执行其工作而进入和在中华人民共和国居留，将给予必要方便。

七、中华人民共和国政府将免除：

（一）银行对关于贷款和（或）由此产生的利息而在中华人民共和国征收的所有财政税捐和税款；和

（二）作为供应厂商和（或）承包商的日本国公司，为实施项目表第一栏中提到的项目需要带入和带出他们自备的施工设备，而在中华人民共和国征收的所有关税和有关的财政收费。

八、中华人民共和国政府将采取必要措施以确保：

（一）贷款的使用仅限于适当实施项目表第一栏中提到的各个项目；和

（二）按照这项谅解所述的目的，适当而有效地维持和使用根据贷款建设的设施。

九、中华人民共和国政府将根据请求，向日本国政府和银行提供在项目表第一栏中提到的项目的有关实施进展情况的消息和资料。

十、两国政府将随时共同检查贷款的实施进展情况，以及采取必要的措施，以确保贷款的顺利和有效的使用，并就上述谅解

可能产生的任何问题或者有关事项另外进行相互磋商。

十一、项目表构成本照会不可分割的一部分。

我谨建议本照会和阁下代表中华人民共和国政府确认上述谅解的复照应构成两国政府之间的一项协议，并自阁下复照发出之日起生效。”

我谨代表中华人民共和国政府确认上述谅解，并同意阁下的照会和本复照应构成两国政府之间的一项协议，并自本复照发出之日起生效。

顺致最崇高的敬意。

中华人民共和国外交部长

杨洁篪

本部長は、更に、前記の了解を中華人民共和国政府に代わって確認するにとりて、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成し、その合意がこの返簡の日付の日に効力を生ずるものとするに同意する光榮を有します。

本部長は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二千七年十二月一日に北京で

中華人民共和国

外交部長 楊潔篪

日本国外務大臣 高村正彦閣下

二〇〇七年十二月一日于北京

| 项目表 | | | | |
|--------------------------|-----------|--|---------------------|--------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 项目名称 | 限额 | 年增长率 | 偿还期 | 支付期(从贷款协议生效之日起) |
| 1.甘肃省兰州市大气污染防治治理项目 | 七十亿日元 | 百分之零点六五(0.65%) | 十(10)年宽限期之后的三十(30)年 | 八(8)年 |
| 2.青海库拉塔生态建设项目 | 六十三亿日元 | 百分之零点六五(0.65%) | 十(10)年宽限期之后的三十(30)年 | 九(9)年 |
| 3.新疆维吾尔自治区城市环境综合治理项目(二期) | 三十八亿二百万日元 | 百分之零点六五(0.65%) | 十(10)年宽限期之后的三十(30)年 | 八(8)年 |
| | | 优惠条件适用部分(保护全球环境和治理工业污染有关的部分以及支援人才培养部分) | | |
| | | 一般条件适用部分 | 百分之一点四(1.4%) | 七(7)年宽限期之后的十八(18)年 |
| 4.河南省郑州市环境治理项目 | 一百十五亿日元 | 百分之零点六五(0.65%) | 十(10)年宽限期之后的三十(30)年 | 七(7)年 |
| 5.湖南省长沙市垃圾处理项目 | 一百零五亿日元 | 百分之零点六五(0.65%) | 十(10)年宽限期之后的三十(30)年 | 七(7)年 |
| 6.安徽省城市垃圾处理项目 | 六十八亿日元 | 百分之零点六五(0.65%) | 十(10)年宽限期之后的三十(30)年 | 七(7)年 |

总额
 四百六十三亿二百万日元

中国との円借款取極

(解釈正文に関する書簡)

(日本側書簡)

書簡をもって啓上いたします。本大臣は、中華人民共和国政府に供与される日本国の借款に関する本日付けの交換公文に関し、日本語、中国語及び英語により作成された同交換公文の解釈に相違がある場合には英語の本文によるものとするを日本国政府に代わって提案する光榮を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二千七年十二月一日到北京で

日本国外務大臣 高村正彦

中華人民共和国

外交部長 楊潔篪閣下

中国側書簡

(中国側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本部長は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(日本側書簡)

本部長は、更に、中華人民共和国政府に代わって、閣下の書簡に述べられた提案に同意する光栄を有します。

本部長は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かって敬意を表します。

二〇〇七年十二月一日に北京で

中華人民共和国

外交部長 楊潔篪

日本国外務大臣 高村正彦閣下

(中方照会)

日本国外務大臣高村正彦閣下
閣下:

我謹收到閣下今日的来照，内容如下:

“我謹就今天日方拟向中华人民共和国政府提供日元贷款的
有关换文，代表日本国政府建议：上述用日文、中文和英文写成的
换文，如果在解释上发生分歧，应以英文本为准。”

我谨代表中华人民共和国政府同意阁下来照中提出的建议。

顺致最崇高的敬意。

中华人民共和国外交部长

杨洁篪

二〇〇七年十二月一日于北京

(Japanese Note)

Beijing, December 1, 2007

Excellency,

I have the honour to confirm the following understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the People's Republic of China concerning a Japanese loan to be extended to the Government of the People's Republic of China:

1. A loan in Japanese yen up to the amount of forty-six billion three hundred and two million yen (¥46,302,000,000) (hereinafter referred to as "the loan") will be extended, in accordance with the relevant laws and regulations of Japan, to the Government of the People's Republic of China by Japan Bank for International Cooperation (hereinafter referred to as "the Bank") for the purpose of implementing the projects enumerated in Column 1 of the Annex attached hereto (hereinafter referred to as "the Annex") according to the allocation for each project as specified in Column 2 of the Annex. The Ministry of Finance of the People's Republic of China (hereinafter referred to as "the Ministry") is authorized by the Government of the People's Republic of China to accept the loan and sign the loan agreements with the Bank on behalf of the Government of the People's Republic of China.

2. (1) The loan will be made available by loan agreements to be concluded between the Ministry and the Bank. The terms and conditions of the loan as well as the procedures for its utilization will be governed by the said loan agreements which will contain, inter alia, the rate of interest, the repayment period and the disbursement period enumerated respectively in Columns 3, 4, and 5 of the Annex.

(2) Each of the loan agreements mentioned in subparagraph (1) above will be concluded after the Bank is satisfied of the feasibility, including environmental consideration, of the projects enumerated in Column 1 of the Annex to which such loan agreements relate.

(3) The respective disbursement periods enumerated in Column 5 of the Annex may be extended with the consent of the authorities concerned of the two Governments.

3. (1) The loan will be made available to cover payments to be made by the Chinese executing agencies to suppliers and/or contractors of eligible source countries under such contracts as may be entered into between them for purchases of products and/or services required for the implementation of the projects enumerated in Column 1 of the Annex, provided that such purchases are made in such eligible source countries for products produced in and/or services supplied from those countries.

(2) The scope of eligible source countries mentioned in sub-paragraph (1) above will be agreed upon between the authorities concerned of the two Governments.

(3) A part of the loan may be used to cover eligible local currency requirements for the implementation of the Qinghai Ecological Environmental Improvement Project.

4. The Government of the People's Republic of China will ensure that the products and/or services mentioned in subparagraph (1) of paragraph 3. are procured in accordance with the guidelines for procurement of the Bank, which set forth, inter alia, the procedures of international competitive bidding to be followed except where such procedures are inapplicable or inappropriate.

5. With regard to the shipping and marine insurance of the products purchased under the loan, the Government of the People's Republic of China will refrain from imposing any restrictions that may hinder fair and free competition among the shipping and marine insurance companies.

6. Japanese nationals whose services may be required in the People's Republic of China in connection with the supply of the products and/or services mentioned in subparagraph (1) of paragraph 3. above will be accorded such facilities as may be necessary for their entry into the People's Republic of China and stay therein for the performance of their work.

7. The Government of the People's Republic of China will exempt:

(a) the Bank from all fiscal levies and taxes imposed in the People's Republic of China on and/or in connection with the loan as well as interest accruing therefrom; and

(b) Japanese companies operating as suppliers and/or contractors from all duties and related fiscal charges imposed in the People's Republic of China with respect to the bringing-in and bringing-out of their own construction equipment needed for the implementation of the projects enumerated in Column 1 of the Annex.

8. The Government of the People's Republic of China will take necessary measures to ensure that:

(a) the loan be used properly and exclusively for the projects enumerated in Column 1 of the Annex; and

(b) the facilities constructed under the loan be maintained and used properly and effectively for the purpose prescribed in the present understanding.

9. The Government of the People's Republic of China will, upon request, furnish the Government of Japan and the Bank with information and data concerning the progress of the implementation of the projects enumerated in Column 1 of the Annex.

10. The two Governments will jointly review from time to time the progress of the implementation of the loan and take necessary measures to secure smooth and effective utilization of the loan and otherwise consult with each other with respect to any matter that may arise from or in connection with the present understanding.

11. The Annex shall form an integral part of the present Note.

I have further the honour to propose that this Note and Your Excellency's Note in reply confirming on behalf of the Government of the People's Republic of China the foregoing understanding shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Masahiko Koumura
Minister
for Foreign Affairs of Japan

His Excellency
Mr. Yang Jiechi
Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic
of China

Annex

| Column 1 | Column 2 | Column 3 | Column 4 | Column 5 |
|--|-------------------|------------------|---|--|
| Project | Maximum amount | Rate of Interest | Repayment period | Disbursement period (after the effective date of the loan agreement) |
| 1. Gansu province Lanzhou City Atmospheric Environmental Improvement Project | 7,400 million Yen | 0.65% | thirty (30) years after the grace period of ten (10) years | eight (8) years |
| 2. Glinhai Ecological Environmental Improvement Project | 6,300 million Yen | 0.65% | thirty (30) years after the grace period of ten (10) years | nine (9) years |
| 3. Kunming Ecological Environmental Improvement Project (Phase II) | 3,602 million Yen | 0.65% | thirty (30) years after the grace period of ten (10) years | eight (8) years |
| | | | | |
| | | 1.4% | eighteen (18) years after the grace period of seven (7) years | |

| Column 1 | Column 2 | Column 3 | Column 4 | Column 5 |
|--|--------------------|------------------|--|--|
| Project | Maximum amount | Rate of Interest | Repayment period | Disbursement period (after the effective date of the loan agreement) |
| 4. Henan province Nanyang City Environmental Improvement Project | 11,500 million Yen | 0.65% | thirty (30) years after the grace period of ten (10) years | seven (7) years |
| 5. Henan province Municipal Solid Waste Treatment Project | 10,500 million Yen | 0.65% | thirty (30) years after the grace period of ten (10) years | seven (7) years |
| 6. Anhui province Municipal Solid Waste Treatment Project | 6,800 million Yen | 0.65% | thirty (30) years after the grace period of ten (10) years | seven (7) years |

Total amount: 46,302 million Yen

(Chinese Note)

Beijing, December 1, 2007

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the People's Republic of China the foregoing understanding and to agree that Your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of this Note in reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Yang Jiechi
Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic
of China

His Excellency
Mr. Masahiko Kōmura
Minister for
Foreign Affairs of Japan

(Japanese Note)

Beijing, December 1, 2007

Excellency,

With reference to the Exchange of Notes dated today concerning a Japanese loan to be extended to the Government of the People's Republic of China, I have the honour to propose, on behalf of the Government of Japan, that in case there is any divergence of interpretation of the said Exchange of Notes which is done in the Japanese, Chinese and English languages, the English text shall prevail.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Masahiko Koumura
Minister
for Foreign Affairs of Japan

His Excellency
Mr. Yang Jiechi
Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic
of China

(Chinese Note)

Beijing, December 1, 2007

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to express agreement, on behalf of the Government of the People's Republic of China, to the proposal put forward in Your Excellency's Note.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Yang Jiechi
Minister of Foreign Affairs
of the People's Republic
of China

His Excellency
Mr. Masahiko Koumura
Minister for
Foreign Affairs of Japan

(参考)

この取極は、国際協力銀行が中国政府に対し、四百六十三億二百万円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認するものである。